
本 編

第1章 調査研究の概要

第1章 調査研究の概要

1. 調査研究の目的

高齢社会に対応した多様な居住形態の検討など、高齢者が住み慣れた地域で住み続けるための取り組みが各方面で進んでいる。その一方で、高齢者世帯や単身世帯の増加に伴い、孤独化、引きこもりなど地域コミュニティとの不適合の問題が生じてきている。また2007年以降には、いわゆる「団塊の世代」をはじめ大量の退職者の発生が見込まれており、これまで地域コミュニティとの接点の少なかった層が地域で暮らしていく上で、新たな問題が生じることが懸念されている。

しかしながら団塊世代は、現役時代に多様な経験、知識、技術を習得してきた層であり、こうした人材が地域の中で、社会資源を有効に活用しながら一定の役割を果たせる環境を整備、確保することは、健康長寿のまちづくりの観点からも極めて重要となる。すなわち、従来のように老老介護といった悲観的な側面だけでなく、今後は、高齢者自身が地域で生きがいを持ち積極的に役割を果たせる地域コミュニティの形成が、何よりも重要になると考えられる。

そのためには、こうした高齢者の人材バンク的機能、コーディネート機能及び、医療・福祉・介護分野など社会資源の活用場面での新たな役割の創出が期待される。特に、前述の地域コミュニティとの不適合の問題においてこれを支える仕組みが必要となり、団塊世代の高齢者がその人材として期待される。しかし、そのための仕掛けや受け皿などの支援方策はまだ整っておらず、重要性は感じていながらもその対応策がわからないという場合も多いと思われる。

本事業では、このような現状を踏まえ、地域コミュニティの中での新たな人材の確保と活用、ネットワーク形成などの取り組みを調査し、こうした取り組みを推進するための手法を検討するものである。さらにこの成果をまとめ、先駆的取り組み事例を含めた概要書を作成し、広く市区町村に配布することによって、「住み続けられるまち」の実現に向けた地域整備の推進を目指す。

2. 実施内容

本事業では、以下の項目について調査を実施した。

①健康長寿のまちづくり推進のための団塊世代の人材活用及びネットワーク形成の方策等を検討するための委員会の設置、開催

○検討事項

- ・団塊世代の動向・特性、人材活用の施策・取り組みについて
- ・アンケート調査、ヒアリング調査について
- ・対応方策について 等

②健康長寿のまちづくり推進のための団塊世代の人材活用及びネットワーク形成の方策等に関するアンケート調査

○調査対象:全国の都道府県・市区町村(発送 2,047 件、回収 975 件、回収率 47.6%)

○主な調査事項

- ・団塊世代の高齢化に向けた施策・事業について
- ・施策・事業を実施する上での課題
- ・団塊世代の高齢化に向けた活動への取り組み
- ・地域包括支援センターの状況
- ・高齢化する団塊世代に期待する社会的役割
- ・団塊世代の活躍を期待する分野 等

③先進的・特徴的な取り組みに関するヒアリング調査

○調査対象:全国の自治体、民間の取り組み事例 12 件

○調査事項

【自治体向け】

- ・自治体における団塊世代の現状、団塊世代の高齢化の予測
- ・団塊世代の大量離職や高齢化に対する、自治体としての課題意識
- ・団塊世代に対して期待すること
- ・特に、団塊世代の活力を活かしたいと思う分野とその理由
- ・自治体による団塊世代向けの取り組み
- ・団塊世代向けの活動を行なっている団体等に対する助成措置等

【民間団体向け】

- ・活動の内容
- ・活動に至った経緯、きっかけ
- ・活動に対する団塊世代や一般市民の反応、活動の成果
- ・活動を行なう上での課題
- ・行政への要望等
- ・団塊世代に対して期待すること
- ・活動主体の立場から見た団塊世代の特徴
- ・今後の取り組み予定

④各調査結果の分析及び対応方策案の検討

既往研究調査、文献資料調査、アンケート調査、ヒアリング調査、及び委員会における討議の結果を基に、対応方策案を検討する。

3. 実施体制

本調査研究の実施にあたっては、下記の学識経験者、自治体関係者等からなる検討委員会を設置し、調査研究期間内に3回の委員会を開催した。(敬称略、委員は五十音順)

委員長	川村 匡由 (武蔵野大学現代社会学部 教授)
委員	上野 仁志 (豊島区区民部地域区民ひろば課 地域区民ひろば推進担当係長)
	阪本 節郎 (株式会社博報堂エルダービジネス推進室 室長)
	塚谷 皖子 (NPO 法人エイジコンサーン・ジャパン 理事長)
	萩野 慶子 (C&P オフィスケイ 主宰)
	山崎 敏 (立教大学コミュニティ福祉学部 講師)
オブザーバー	黒岩 嘉弘 (厚生労働省老健局振興課 課長補佐)
	谷山 拓也 (厚生労働省老健局振興課 課長補佐)

なお、委員会は以下の通り開催し、各議題についての議論を行なった。

第1回委員会(平成 18 年 12 月 18 日(月))

1. 調査研究事業の概要について
2. 団塊世代の動向・特性
3. 人材活用の施策・取り組み
4. 団塊サードウェーブとまちづくり推進の可能性
5. アンケート調査・ヒアリング調査について
6. 八王子市の取り組みについて
7. 討議(報告書の取りまとめ方について、アンケート調査・ヒアリング調査について)

第2回委員会(平成 19 年 2 月 9 日(金))

1. 第 1 回議事内容の確認
2. 中高年の実りある後半人生・U3A“第三世代大学”
3. アンケート調査結果(速報)について
4. ヒアリング調査について
5. 対応方策の検討に向けて
6. 報告書骨子案について
7. 概要版掲載案について
8. 討議(取り組み事例の分類、アンケート調査・ヒアリング調査について)

第3回委員会(平成 19 年 3 月 2 日(金))

1. 報告書素案について
2. アンケート調査について
3. ヒアリング調査について
4. 人材活用とネットワーク形成の方策
5. 事例集案について
6. 討議(報告書素案について)